



11月22日に多数の先生方に参加していただき公開研究会を開くことができました。分科会では、公開授業に関する協議を行い活発な意見交換がなされました。また、協議の後半では、教育課程に関する協議を行い、他校の先生方から次年度の教育課程編成に向けて示唆をたくさんいただきました。指導助言では、本校の研究や授業づくり、教育課程等の今後の方向性について具体的かつ分かりやすく助言いただきました。公開研究会で得られた成果を次年度の教育課程編成に結び付けていきましょう！

12月の学習目標は、「目標や頑張ることを意識して、積極的に学習に取り組もう」です。公開研究会の一般授業、公開授業ともに、児童生徒が目標や頑張ることを意識して取り組む姿が多く確認されました。今後も目標や頑張ることを意識して学習に向かえるように、今一度横手のスタンダードの授業の中で大切にしたいポイントを確認しましょう。

## 授業の中で大切にしたいポイント

### ★学習の意味付け、価値付け、関連付け【ライフキャリアの視点：役割を果たす】

- ・児童生徒が学習の必要性を感じられる工夫がある。
- ・児童生徒が学習のゴールや学習と将来との結び付きを意識できる工夫がある。
- ・児童生徒が学習中に学習のめあてを意識できる工夫がある。
- ・少し難しく、挑戦したいと思える課題が設定されている。
- ・学習のめあてとまとめのつながりが見える工夫がある。

\*横手のスタンダード P3 から抜粋

## 学習の必要性

- ・本校では、地域資源を効果的に活用した授業づくりに取り組んできました。地域資源を活用する際には、今後も児童生徒にとって必要性を感じられる場所や単元の展開、目的が必要です。  
例) ケーキ屋さんを開くために、まずはケーキさんの仕事を見に行く。(単元の導入時)  
上手に読み聞かせをしたいから、読み聞かせのプロにきてもらいアドバイスをもらう。(単用の後半部) 等

## 学習のゴールや将来との結び付き

- ・今の学習は、どのような結果になるか予想できる(分かる)ことが大切です。  
例) プレゼント作りをする⇒近隣の保育園児が喜ぶ  
鉢に種を植える⇒夏には赤い花が咲くことが分かる  
生活習慣を整えようとする⇒将来仕事を続けられる要素になることが分かる 等



## 学習中にめあてを意識できる めあてとまとめのつながりが分かる

- ・今日の頑張り所(集団も個人も)や学習の流れが分かることが大切です。  
例) めあてが板書されている。まとめの仕方が板書されている。  
自分のめあてや完成品、完成図等が手元(目に触れる場所)に置かれている。  
本日の学習の流れや、その時間、個数等が示されている。 等



## 挑戦したいと思える課題

- ・繰り返しの学習を設定することでやる事が分かり意欲的…なりがちですが、単元の展開を考える際には、ただ繰り返すのではなく、繰り返しの中でねらい、活動の幅や内容、要素が広がり、深まったり、加えたりしていくことが大切です。その中で、少しずつ一人で、及び集団でできる場を増やしていくことも重要な視点です。  
例) 話し合い活動⇒〈内容や要素〉始めは、身近な事柄や自分の気持ちを表すことから。人数もペアから。  
おもてなしをする⇒〈対象相手〉家族⇒身近な人⇒お世話になった人⇒地域の人 等

